

疾病治療論 V 練習問題2 (資料2～)

設問A：以下の文書を読んで、正しいものには○を、誤っているものには×を記載しなさい。

【P1～】

- ① 鼻腔の粘膜層には、吸気を加温するための豊富な血管網が発達している。
- ② 鼻中隔の前下部にあるキーゼルバッハ部位は、血管が少なく出血しにくい部位である。
- ③ 臭いを感知する嗅細胞は、嗅上皮の中で支持細胞に挟まれて孤立して存在している。

【P3～】

- ④ 成人の1日あたりの唾液分泌量は100～150mLである。
- ⑤ 喉頭蓋の働き（下垂）により、食塊が喉頭に流入するのを阻止している。

【P7～】

- ⑥ 齲歯は、口腔内の細菌が糖분을餌にして作り出したアルカリによって、
歯の表面が溶かされることで発生する。
- ⑦ 歯の表面に付着した細菌の集合体であるプラーク〈歯垢〉は、食物残渣そのものである。

【P8～】

- ⑧ 軽度な齲歯の治療は、病変部を削って詰め物をする。
- ⑨ 齲歯が進行して歯の内部にある神経まで侵されている場合でも、
神経を抜かずに上から詰め物をするだけで完全に治癒する。
- ⑩ 歯全体が崩壊し周囲の歯へ悪影響を及ぼすような重症の齲歯には、抜歯を行う。

設問B：以下の問いに答えよ。

【P1～】

問題1：鼻中隔前方からの出血への対応で正しいのはどれか。

- 1 仰臥位にする。
- 2 Bellocq 〈ベロック〉 タンポンを挿入する。
- 3 咽頭に流れてきた血液は飲み込むよう説明する。
- 4 Kiesselbach 〈キーゼルバッハ〉 部位を圧迫する。

問題 2：嗅上皮に存在し、その表面を覆う粘液を分泌してにおい物質を溶解させる働きを持つ腺はどれか。

- 1 ボウマン腺
- 2 漿液腺
- 3 舌下腺
- 4 涙腺

【P2～】

問題 3：アレルギー性鼻炎の病態において、抗原が結合することで肥満細胞からの化学伝達物質の放出を誘導する免疫グロブリンはどれか。

- 1 IgA
- 2 IgE
- 3 IgG
- 4 IgM

【P3～】

問題 4：唾液に含まれる成分で、消化酵素として働くものはどれか。

- 1 ムチン
- 2 IgA 抗体
- 3 リゾチーム
- 4 アミラーゼ

問題 5：嚥下の 5 期において、食物を歯で噛み砕き、唾液と混ぜ合わせて食塊を形成する時期はどれか。

- 1 先行期
- 2 準備期
- 3 口腔期
- 4 咽頭期

【7～】

問題 6：口腔ケアにおいて、プラーク〈歯垢〉を効率的に除去することで予防効果が最も期待できる、高齢者に多い呼吸器疾患はどれか。

- 1 肺結核
- 2 気管支喘息
- 3 誤嚥性肺炎
- 4 肺気腫〈COPD〉

【P9～】

問題 7 歯周病の直接的な原因であり、不十分な歯磨きなどによって歯と歯茎の隙間に形成される、細菌の集合体の名称はどれか。

- 1 歯石
- 2 歯垢
- 3 歯髄
- 4 歯胞

問題 10：我が国における「成人の歯の喪失原因」の第 1 位であり、進行すると歯を支える骨が溶けて歯が抜け落ちてしまう疾患はどれか。

- 1 齲歯
- 2 歯周病
- 3 口腔癌
- 4 顎関節症

問題 11：歯周病の治療において、最初に行われる基本治療の内容として、当てはまらないものはどれか。

- 1 歯科医院での歯石の除去
- 2 自宅での正しいブラッシングの指導
- 3 手術による、溶けて失われた骨の再生
- 4 歯の動揺に合わせた噛み合わせの調整

【P12～】

問題 12：口腔ケアの分類において、うがいや歯磨き、義歯・舌の清掃などによって、「口の中の汚れを取り除き、清潔を保つこと」を目的とするケアはどれか。

- 1 機能的口腔ケア
- 2 器質的口腔ケア
- 3 精神的口腔ケア
- 4 社会的口腔ケア

問題13：口腔ケアで適切なものはどれか。

- 1 歯肉出血があっても実施する。
- 2 含嗽のできない患者には禁忌である。
- 3 総義歯の場合、義歯の洗浄のみでよい。
- 4 経口摂取をしていない患者には不要である。